



目指す生徒像

自主・敬愛・健康

自ら学び続ける生徒
豊かな心をもつ生徒
心身をきたえる生徒

令和2年度

第7号

8月21日発行

文責：小松

電話：0224-53-1369

E-mail: kinchu@

ogawara-k.miyagi.jp

2学期始業式 校長あいさつ

今年の夏休みは12日間と非常に短い夏休みでしたが、これまで以上に、金中生に事故やけががないだろうか、心配していました。1学期末に近隣の中学校で生徒が川で亡くなるという痛ましい事故がありました。他の学校の事とは思えず、心も体も震える思いでした。

しかし、皆さんは、夏休みの留意事項をしっかり守り、安全に過ごし、事故・けがの報告はありませんでした。今日、皆さんが元気に登校し本当に安心しました。



今回もオンラインで行いました

さて、2学期が始まりました。2学期は、学校行事がたくさんあります。9月に3年生の修学旅行、1、2年生の新人大会。10月には金中祭などなど。

3年生には、修学旅行でたくさんの学びと楽しい思い出をつくらせてほしいと思います。1、2年生には、どんな形の新人大会になるかまだ見えていませんが、技術を磨き、チームワークを高め、金中生としてベストを尽くしてほしいと思います。そして、金中祭においては、全校生徒が一丸となって、学習の成果の発表と聴いている人の心を熱くする合唱、来場した方々を笑顔にする取組がなされることを期待しています。コロナ禍だからこそ、これまでになかった考え方や見方で、知恵とアイデアを結集すれば、これまで以上のものが創れると、私は思います。

次に、2学期のスタートにあたり、「我慢と努力」についてお話しします。

これは、8月3日の新聞記事です。大相撲7月場所で優勝した前頭17枚目の「照ノ富士」28才。照ノ富士は5年前にも優勝し大関にまで昇進しましたが、横綱が目前になった時、両膝のけがと病気に見舞われました。そのため大関からどんどん番付は落ち、給料ももらえない「序二段」まで落ちてしまいました。それでも彼は引退しませんでした。復活をあきらめませんでした。「勇気と我慢を伝えたかった」と7月場所に臨みました。計り知れない苦労と挫折があったと思いますが、「一生懸命やれば、いいことがある」と信じ、相撲道を一步一步前進し続けました。

照ノ富士のすばらしさはどんなところだと感じましたか？私は、優勝という結果を出したことはもちろんですが、復活を信じあきらめなかったことだと思います。そして、復活したこの経験こそ、彼にとって今後を生きる上で、非常に大きな力になり続けると思います。見ていた全ての人に、感動とともにその経験も分け与えてくれたことに大きな意味があると思います。

皆さんも、2学期の目標「なりたい自分」を定め、目標達成のため一生懸命努力し続けてください。その「我慢と努力」の成果は、皆さんが今後生きる上で、大きな力になると信じています。

12月の皆さんの成長した姿を楽しみにしています。

令和2年 8月20日

大河原町立金ヶ瀬中学校
校長 大内 恵美

始業式での生徒代表の所感発表



1 学年代表



2 学年代表



3 学年代表

代表の3名は、1学期の反省の上に2学期の目標をしっかりと述べました。終業式に続き、今回もオンラインで行いました。3人とも慣れないカメラの前で、さらに校長室からの放送ということでも緊張したと思います。3人とも、自分の思いを堂々と発表しました。2学期のさらなる活躍を期待します！

救急救命講習実施

8月7日(金)、1学期終業式の後に職員が参加し、救急救命講習を行いました。保健体育科の佐藤通英教諭を講師に、心肺蘇生法やAEDの使い方等について熱心に学びました。

災害や事故はいつ起こるか分かりません。どのような事態にも対処できるよう、普段から意識すること

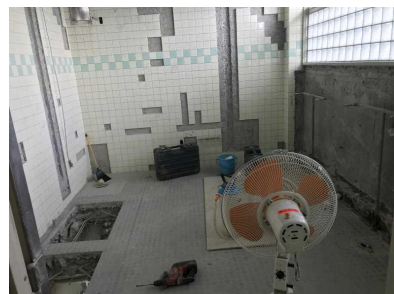


トイレの改修工事を行っています

と、訓練することの大切さを改めて感じました。

夏休み中から洋式化のためのトイレの改修工事が始まりました。現在、教室側校舎の1階と2階のトイレを工事しています(工期は10月までの予定)。こちらが終わり次第職員室側校舎の工事に入ります(工期は2月までの予定)。

工事現場にはコーンを置いて立ち入り禁止の表示をし、注意を促すなど、生徒の安全対策には万全を期しております。



新しい職員を紹介します

金ヶ瀬中学校の新しい職員を紹介します。8月18日(火)付で配属になった、スクール・サポート・スタッフの永沢恵美子(ながさわえみこ)さんです。おもな業務内容は、校内の清掃・消毒作業、給食の配膳補助です。どうぞよろしくお願ひします。

熱中症に注意

暦の上では立秋も過ぎましたが、まだまだ厳しい残暑が続いています。熱中症予防のため、登下校時には十分な距離が確保できる場合は、マスクの着用は必要ありません。また、授業においても息苦しさを感じた場合などは、マスクを外したり、一時的に片耳だけかけて呼吸したりするなど、生徒自身の判断でも適切に対応するよう指導しております。御家庭でもお声がけください。